

地域密着型金融推進計画

**重点強化期間 自 平成17年4月 1日
至 平成19年3月31日**

**平成17年8月31日
富山信用金庫**

地域密着型金融推進計画【目次】

- 1. 本推進計画の趣旨..... P 1
- 2. 集中改善期間の取組みの分析・評価..... P 2
 - (1) 成果と実績
 - (2) 今後の課題
- 3. 重点強化期間の取組方針..... P 5
- 4. 具体的な取組み..... P 10
- 5. 目標とする計数..... P 13

1. 本推進計画の趣旨

平成15年度、16年度を集中改善期間として「リレーションシップバンキングの機能強化計画」を策定し、各種の施策に取り組んでまいりました。

地域に密着した長期間にわたる取引関係に基づく金融取引を強化し、中小企業の再生と地域経済の活性化に資するための取組みはまさしく当金庫の基本方針「富山信用金庫は信頼され親しまれる金融機関として郷土の繁栄と中小企業の発展に奉仕する」の遂行に他ならないものと考えております。

計画期間においては、射水信用金庫との合併という、経営上の大きな節目も迎えましたが、大きな問題もなく無事合併を終えることが出来、合併の主たる目的である経営体質の強化、地域金融機関としての確固たる経営基盤の構築やお客様の利便性向上など着実に進んでおります。

役職員一体となり、合併後はより強化された体制の基、機能強化計画に掲げておりました個々の取組みを行った結果、夫々一定の成果を上げるとともに、計画の遂行を通じて、金庫内のノウハウの蓄積や遂行体制の構築を行うことができました。

しかしながら、機能強化計画は準備期間もなかったことから一部の項目については十分にその計画の目的が達成されたとは言い難い状況にあり、中小企業の再生と地域経済活性化実現のためには再度強力に各施策の継続、浸透を図る必要があります。より一層地域密着型金融の機能を強化すべく平成17年度、18年度を重点強化期間とする地域密着型計画を策定し取組むことといたしました。機能強化計画の実績や反省点を踏まえ、より実効性のある具体的な計画を下記の通り定め、富山信用金庫の全組織を上げ取組むとともに本計画を開示し地域の方々のご理解を得たいと考えております。

2.集中改善期間の取組みの分析・評価

(1) 成果と実績

平成15年度、16年度の集中改善期間においては下記の項目につき取組みを行い、成果と実績を上げることができました。

項 目	成果が上がった事項	取組みが不十分だった事項
Ⅰ.中小企業金融の再生に向けた取組み		
1.創業・新事業支援機能等の強化	・中小企業支援態勢の構築 *特定業種（建設業・不動産業）を専門に審査する担当者の設置 ・公的機関、公的金融機関等との業務連携・協力づくりの取組み *富山県新世紀産業機構と業務連携・協力の覚書の締結（富山県中小企業支援センターの活用他） *国民生活金融公庫と業務連携・協力の覚書の締結 *中小企業金融公庫と業務連携・協力の覚書の締結 ・M & A仲介業務に関する協定書の締結（信金キャピタル(株)、(株)日本M & Aセンター、(株)トマック、(株)マスタック） ・富山商工会議所シニアアドバイザーセンターの協力による経営相談会の実施（年1回）	・目利き研修等を通しての審査体制の整備・強化 ・担保・保証に過度に依存しない創業・新事業の商品開発の取組み
2.取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化	・(株)ベンチャー・リンクと業務協力に関する基本契約を締結し、「とみしんサクセスクラブ」を設立 *経営情報、ビジネス・マッチング情報の提供等、経営相談、支援機能の強化 *ビジネス・マッチングとして、全国規模の大商談会（(株)ベンチャー・リンク主催）に取引先企業6社が出展できるように支援	・本部と営業店が一体となった経営支援活動の整備 ・外部専門家を取入れての経営支援機能の強化
3.早期事業再生に向けた積極的取組み	・DIPファイナンス実行	・対象先が少ないため、取組先数が不足

4.新しい中小企業金融への取組みの強化	・担保・保証に過度に依存しない融資の取組みの推進 *シンジケートローン実行 *スコアリングシート活用の商品「とみしんアシスト」の創設 *当庫保証型の私募債実行 ・財務諸表の精度が相対的に高い中小企業に対する融資の推進として *「とみしんTKC経営者ローン」創設 *「とみしん税理士会経営者ローン」創設	・信用リスクデータベースの整備・充実及び活用 *基準金利の策定 *担保・保証に過度に依存しない創業・新事業の商品開発の取組み *個人事業主の格付の取組み
5.顧客への説明態勢の整備、相談・苦情処理機能の強化	・「与信取引に関する顧客への説明態勢に係る規定」の制定、「苦情処理規定」の改定	・顧客への説明態勢に係る規定の周知徹底、定着化
6.進捗状況の公表	・総代会、ホームページ、プレスリリースによる公表の実施	
II.各金融機関の健全性の確保、収益性の向上等に向けた取組み		
1.資産査定、信用リスク管理の強化	・金融検査マニュアル別冊（中小企業融資編）に係る資産査定マニュアルの一部改訂 ・ディスクロージャー誌による金融再生法開示債権の保全状況の開示	・不動産担保の実勢価格の査定への反映を検討 ・信用格付と自己査定との整合性を検証中であり、精度向上が今後の課題
2.収益管理態勢の整備と収益力の向上	・審査業務における企業信用格付の活用	・信用データベースの整備が不十分
3.ガバナンスの強化	・ミニディスクロージャー誌、ホームページ、プレスリリースによる半期開示の実施 ・信金中央金庫の提供する経営相談機能を活用 ・総代の選考基準や選考手続きの透明化及び会員の意見を反映させる仕組み等の整備	・総代の定年制・重任制限については今後の検討課題
4.地域貢献に関する情報開示等	・ディスクロージャー誌による金融業務を主体とした地域貢献状況の開示	

(2) 今後の課題

以下の項目について、今後の課題として新推進計画において重点的に取組みたいと考えております。

- ・中小企業金融の円滑化と健全かつ強固な経営基盤の構築
- ・お客様のニーズに即した金融商品・金融サービスの提供
- ・店舗ネットワークの有効活用

3. 重点強化期間の取組方針

1 地域の特性

富山市の産業分布状況は卸小売・金融・不動産の富山市への集積が見受けられます。富山市の特徴的業種としては薬品製造・不二越関連企業等がありますが、富山市の景況を大きく左右するほどの影響力はありません。又富山市の従業者規模別事業所数では94%までは30人未満、99%までは100人未満の中小零細企業となっています。当庫の富山市内店舗の事業所融資先数は市内総事業所数の約11%であり当金庫は建設業・製造業との取引割合が高い反面、卸小売業・サービス業が低い状況が見受けられます。

国内経済は踊り場を脱却し回復傾向となってきましたが、地域経済の実態は依然として厳しい状況が続いており、今後2年間の見通しについても米国経済・中国経済・石油情勢・テロ行為の発生、国内では巨額の財政赤字・増税・国民負担増等様々な要因もあり国内全体の景気、地域経済についても不安定要因が多く予断が許せない状況です。このような情勢の中で中小零細企業についても厳しい経営環境が続くと思われます。

当金庫の店舗網は富山市及びその周辺市町村へ広がっております。射水信用金庫との合併により小杉町・大島町・大門町・新湊市が加わり富山県中央部に店舗網が面としてつながっております。その中で店舗を30カ店を配しお客様の利便を図っております。

2 当金庫の強み

(1) 近くて便利

地域内の店舗ネットワークやきめ細かな渉外活動による「近くて便利」という機能は中小零細事業者融資の定性的情報の収集といった面では強みを発揮できます。

(2) 会員組織という「長期的信頼関係」

信用金庫は単に短期的な利益の計上のみを目指すものではなく会員及び顧客の痛みを分かち合うことにより会員および顧客の長期的発展を目指してきたということから生まれた信用金庫会員・顧客との「長期的信頼関係」も強みであると考えております。

特に当金庫は設立母体が家庭薬配置関連という地域の伝統的産業であり100年以上もの歴史の中で会員・顧客との間で盛衰を分かち合ってきたことで培われた信頼関係は大きな強みであると考えます。

(3) 職員が地域の住民であること

当金庫職員は営業区域内を勤務の場所とすると同時に、その中での生活者であります。当金庫自身又職員も地域の使命共同体の一員であります。地域との共存共栄を意識した生活を送っているという事とともに日常生活のなかで常に地域の情報を得ることができるのも強みの一つであると考えます。

3 当金庫の目指す姿

(1) 中小企業金融の円滑化と健全かつ強固な経営基盤の構築

中小企業金融の円滑化を行うため人材の育成に努め特に「目利き」能力養成のため研修を充実し又富山県中小企業支援センター・政府系金融機関との連携を密に行い協調融資の取り組み・証券化事業などを行い、又円滑な金融の面から地域の商工会議所と連携して経営相談・経営指導の開催等も行います。

過度の担保・保証人に依存しない無担保・無保証人の融資、信頼性のある財務諸表の先に対する融資等顧客のニーズに応えた対応を行います。又スケールメリットを生かした効率経営によって収益力を強化することにより地元中小企業の方々に対する円滑な資金供給を図るとともに健全かつ強固な経営基盤の構築を行います。

(2) お客様のニーズに即した金融商品・金融サービスの提供

多様化するお客様のニーズに対応した金融商品・金融サービスの提供を行います。

- ・投資信託
- ・非対面型消費者ローン商品「きゃっする」
- ・顧客ポイントサービス
- ・創業、新事業資金融資

(3) 店舗ネットワークの有効活用

県中央部においてのお客様との対面取引を重視した店舗網がお客様の利便性を図り又渉外機能を重視したきめ細かな金融サービスを提供いたします。又サービスの質や競争力を支える人材の育成に取組み組織力の向上を図ります。

4 計画推進によって向上する顧客利便

(1) どのようなサービスを提供できるか

目利き力養成により企業の経営改善・経営支援・経営指導を適切に行い企業経営の安定を図ります。

富山県新世紀産業機構等公的機関の活用により効果的な企業の支援を行います。

富山商工会議所シニアアドバイザーセンターと連携して経営相談を行い経営の安定を図ります。

中小企業金融公庫との連携により無担保・無保証人の証券化事業を行い新しい資金提供を行います。

創業・新事業に対し融資商品を開発し、創業・新事業の資金需要に応えます。

とみしんサクセスクラブを通じてビジネスマッチングの支援を行います。

ベンチャーリンク主催の全国規模の大商談会「東京ビジネスサミット」等の参加を推進し、全国に販路開拓の機会を提供いたします。

M & A仲介業務による事業承継・事業買収の情報提供・相談・仲介を行います。

スコアリングモデルを活用した融資商品の利用により、無担保・第三者保証人不要の融資を提供いたします。

シンジケートローンの活用により大口の安定した融資枠の確保ができます。

財務諸表の精度が相対的に高い先に対する融資商品（税理士会・TKC）の利用ができます。

(2) お客様の利便性がどのように向上するのか

富山市を中心に周辺の市町村に30店舗を配置し、このネットワークを活用し345名の役職員が地元密着の中で地域経済発展のために努力しております。特に渉外係が、こまめに集金業務・サービス業務を行っております。

又経営改善、経営支援融資、創業新事業融資等を通じて、資金繰りの改善、経営の安定等に努力しております。又多様化するお客様のニーズに対応した質の高い金融商品・金融サービスの提供を行います。

苦情処理機能を強化しお客様の要望を反映し満足度を高めます。

アンケート調査を行いお客様のニーズを取り入れ利用者の視点に立ったサービスを行います。

半期開示を行うことによりお客様に経営内容を認知してもらい安心して取引をしていただけます。

富山商工会議所が行っている、まちづくり施策の支援として(株)まちづくりとやまに出資及び役員の派遣を行い、総曲輪通り南地区市街地再開発組合・富山ライトレール(株)に出資を行い中心市街地・地元の活性化に協力しております。

(3) 最終的に地域社会にどのような形で貢献できるか

当金庫は富山市を中心に周辺の市町村を事業区域として地元の中小企業者や住民が会員となってお互いに助け合いお互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。地元のお客様からお預かりした大切な資金(預金・積立金)は地元で資金を必要としているお客様に融資を行って事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し地域経済の持続的発展に努めております。又金融機能の提供にとどまらず文化・環境・教育といった面も視野に入れ広く地域社会の活性化に取り組んでおります。

4.具体的な取組み

	検討内容・実施時期等	
	17年度内	18年度内
1.事業再生・中小企業金融の円滑化		
(1) 創業・新事業支援機能等の強化	・「目利き力養成」のための取引先企業にて実地研修の実施(17年7月実施、18年度以降も継続)	
	・公的機関との業務連携、協力の取組み(17年10月を目途)	
	・公的金融機関との連携、協調融資の強化(18年度以降も継続)	
	・創業・新事業に対する商品開発の取組み(17年9月を目途)	
(2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化	・富山商工会議所シニアアドバイザーセンターと連携して経営相談会の開催(17年9月実施、18年度以降も継続)	
	・ビジネスマッチング支援策として情報提供機能、「とみしんサクセスクラブ」の一層の強化(18年度以降も継続)	
	・営業店と連携し、要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組みの強化(18年度以降も継続)	
	・職員の中小企業支援スキル向上を目的として製造業等の取引先に派遣(17年10月を目途)	
	・要注意先債権等の健全化等の強化に関する実績の公表及び公表内容の拡充(18年度以降も継続)	
(3) 事業再生に向けた積極的取組み	・富山県中小企業再生支援協議会の積極的な活用(18年度以降も継続)	
	・富山県新世紀産業機構(相談業務、専門家の派遣他)の積極的な活用(18年度以降も継続)	
	・プリパッケージ型事業再生、私的整理ガイドライン、「デット・エクイティ・スワップ」(DES)及び「デット・デット・スワップ」(DDS)、企業再生ファンド等を活用した企業再生支援事案への積極的な取組み(18年度以降も継続)	
	・再生支援実績があれば事例についての情報を開示(18年度以降も継続)	

(4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等	・財務制限条項を活用した商品（シンジケートローン）の積極的な取組み（18年度以降も継続） ・スコアリングモデルを活用した商品「とみしんアシスト」「商工会議所メンバーズ融資」「商工会メンバーズローン」等の積極的な取組み（18年度以降も継続） ＊目標（2年間） 60先200百万円（17年度30先100百万円、18年度30先100百万円） ・証券化「とみしんCLO」の積極的な取組み（17年12月） ＊目標 30先300百万円 ・財務諸表の精度が相対的に高い中小企業に対する融資商品「とみしんTKC経営者ローン」「とみしん税理士会ローン」等の取組み（18年度以降も継続） ＊目標（2年間） 60先300百万円（17年度30先150百万円、18年度30先150百万円）	
(5) 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化	・約定書を改訂（今年度中を目途に）するとともに、顧客への説明態勢の整備については、研修会開催及び内部検査による点検の実施（18年度以降も継続） ・相談苦情処理機能の強化においては苦情処理フィードバック等による機能強化（18年度以降も継続）	
(6) 人材の育成	・事業再生・中小企業金融の円滑化に向けた人材の育成（17年7月実地研修、18年度以降も継続）	
2.経営力の強化		
(1) リスク管理態勢の充実	・リスクの計量化手法等の研究	・自己資本比率の算出方法の精緻化、情報開示に向けた対応 ・リスクの計量化手法等の研究
(2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上	・信用リスクデータベースの整備・充実（18年度以降も継続） ・管理会計制度充実の検討（18年度以降も継続）	
(3) ガバナンスの強化	・半期開示の継続的实施（18年度以降も継続） ・総代の定年制・重任制限についての検討（18年度以降も継続）	
(4) 法令遵守態勢の強化	・コンプライアンスチェックリストによるセルフチェック、実態把握、コンプライアンス指導等による点検強化（18年度以降も継続） ・個人情報保護監査規定等に基づき内部検査を実施（18年度以降も継続）	
(5) ITの戦略的活用	・中長期のIT戦略の検討	・次期システム対応の検討
(6) 協同組織中央機関の機能強化	・信金中央金庫の提供する経営相談機能の活用（18年度以降も継続）	

3.地域の利用者の利便性向上		
(1) 地域貢献等に関する情報開示	・ディスクロージャー誌、ホームページによる地域貢献等にかかる情報開示	・ディスクロージャー誌、ホームページによる地域貢献等にかかる情報開示 ・利用者からの質問や相談のうち頻度の高いものについての回答事例の掲載
(2) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	・利用者満足度アンケート調査の実施 ・アンケート結果及び相談苦情等を踏まえた改善策の検討と業務運営への反映	・利用者満足度アンケート調査の実施 ・アンケート結果及び相談苦情等を踏まえた改善策の検討と業務運営への反映 ・利用者の声を生かして経営、業務改善を行った事項についての公表
(3) 地域再生推進のための各種施策等との連携等	・信金中央金庫のサポートを受け、PFIの積極的な取組み（18年度以降も継続） ・街再生施策に係る支援等の積極的な取組み（18年度以降も継続）	
4.進捗状況の公表	・総代会、ホームページ、プレスリリースによる計画進捗状況の公表（18年度以降も継続）	

5.目標とする計数

項 目	目 標 計 数	考 え 方
コア業務純益 (18年度)	7億円	各取組みの成果として収益力改善
自己資本比率	17%台	17、18年度において16年度実績の17%台維持
不良債権比率	6%台	ランクアップ及び不良債権処理による比率改善
介護、老健等を担当する審査担当者の配置	1名	業種別担当者の配置
サクセスクラブ会員数	300先	取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化
経営改善支援取組み先 (17年度)	60先	要注意先債権等の健全化等に向けた取組みの強化
経営相談担当の増員	1名	経営支援機能の強化
スコアリングモデルを活用した融資商品	60先 200百万円	担保・保証に過度に依存しない融資の推進
とみしんCLOの取組み	30先 300百万円	証券化の取組み
財務諸表の精度が相対的に高い中小企業 に対する融資商品	60先 300百万円	中小企業の資金調達手法の多様化等に向けた取組みの推進